

2026年6月4日
日本船主協会 企画部広報室

海洋文化都市くれ海博 2026 に海事 PR ブースを出展 ～クイズや VR を通して海事産業を学ぶ～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご覧いただけるよう、船舶や海事施設の見学会、海事 PR ブースの出展等の広報活動を全国各地で実施しております。

5月30日（土）および5月31日（日）の両日、広島県呉市の大和ミュージアム及び周辺広場にて、「海洋文化都市くれ海博 2026」が開催されました。当協会はこの機会を捉え、同県呉地域の船主が中心となって組織する「喜望峰の会」メンバーと協力し、海運をはじめとする海事産業の魅力を紹介する海事 PR ブースを出展いたしましたので、その模様をお知らせします。



海事 PR ブースの様子



自動車船 VR 体験の様子

海事 PR ブースでは、海運にまつわるクイズや自動車船 VR 体験を実施し、参加いただいた方には海運グッズを、X や Instagram のアカウントをフォローいただいた方にはオリジナル海運ミニ袋をプレゼントしました。

同ブースには両日あわせて 300 名以上の方が立ち寄り、海運クイズと VR 体験を楽しんでいかれました。クイズの参加者からは、「(世界最大級の) コンテナ船 1 隻で飛行機約 1800 機分の荷物を運べることは知らなかった」「造船所で、大きなコンテナ船を建造しているのを見た時、あまりの大きさに驚いた」「船は日本にとって重要ですね」等の声が聞かれました。

また、会場内のステージでは、日本船長協会の小尾船長による講演「資源と製品、人もはこぶ船、船員の話」が行われました。講演では、日本は国の広さは世界で 60 番目でも、海の広さは 6 番目で、日本にとって海運は非常に重要だと教えていただきました。また、VLCC タンカーや LNG 船、自動車船、コンテナ船、クルーズ船など、たくさんの船と、運ぶ貨物・船員についてご紹介いただきました。



小尾船長による講演の様子

当協会は、今後も会員会社や海事関連団体と連携しながら、海事 PR ブースの出展をはじめとする各種広報活動を通じて、より多くの皆様に海事産業の重要性や魅力を発信・周知できるように努めてまいります。

以上